

# 2017年5月26～28日 四日市東日本大震災支援の会 第42回派遣 熊本災害ボランティア 報告書

2017年6月14日  
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

九州で大規模な災害が発生し、尊い命が犠牲になり、多くの方が家を失って仮設住宅での不自由な避難生活を強いられています。支援の会では、仮設住宅での生活を開始した約300世帯の皆さんのコミュニティづくりを支援する交流会を開催しました。

## <活動概要>

■西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会（A・D棟2か所の集会所で開催）

### 参加者18名

四日市大学学生8名・教員1名、四日市看護医療大学7名、卒業生2名(ドライバー)

### 費用負担など

高校生・大学生12,000円（学生スタッフ6,000円、ドライバー0円）

★活動日の昼食・夕食を支給（その他の食事は各自負担）

★宿泊(素泊まり)；熊本県山鹿市山鹿1838「旅館巳喜(みき)」電話0968-43-5178

## <スケジュール概要>

### ★5月26日(金)

19:30 四日市大学9号館集合

20:00 四日市大学出発（四日市大学バス停裏の職員駐車場）

### ★5月27日(土)

6:00頃～；阿蘇の被害を視察

9:30頃；仮設住宅到着

9:30～11:30；準備と戸別見守り&告知訪問

12:30～15:30；足浴&お茶会

15:30～16:30；西原村の土産購入

18:00；旅館巳喜 入浴&宿泊（夕食は旅館に持ち込み）

### ★5月28日(日)

6:30；旅館出発 帰路 ⇒ 18:00頃大学帰着



地震の爪痕が残る、でも雄大な風景。観光客は、まだ少ないとのこと。



お年寄りと子供たちが、たくさん来場して笑顔が溢れました



「遠くから来てくれてありがとう」=私たちが最もうれしい言葉です